

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2		勉強をしたり、おやつを食べる部屋と、運動や音楽活動を行う部屋を分けて使用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	1	2	利用者が多い場合は、職員を増員して対応している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			スロープがあり、屋内は段差がない。洗面所は、児童にあった高さになっている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	2		週1回のミーティングを通して、目標、課題等を話し合っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			毎年アンケートを実施し、その内容を保護者に配布している。避難訓練や苦情受付体制などについても周知をした。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	1	ホームページに掲載するとともに、保護者向け広報誌にて公表。センター入り口にも掲示している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3		令和3年度に実施し、結果は県と法人のホームページで公開している。令和6年度に再度受審予定。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	3		随時、研修に参加し、強度行動障害支援者研修などにも参加している。
適切 な支 援の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2		初回利用時に面談し、これまでの経緯などをお聞きし、サービス等利用計画も踏まえ計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3		定期的にはできていないが、療育手帳や指標判定基準などを使用・参考にしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0		週1回ミーティングを実施し、話し合っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2		利用者の状況を見ながら、適宜調整している。季節に合わせた創作活動などを行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3		長期休暇中は学校や家庭からの課題と一緒に取り組んでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	3		集団活動については、音楽活動などを再開した。また、学校の個別指導計画なども参考にしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1		送迎前に、その日の座席順、配置等を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3		職員の退勤時間にばらつきがあるため、終了時の打ち合わせは難しいが、随時、可能な限り行っている。活動内容や気になる点などを中心に記録の入力をし、情報共有をしている。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1	記録を元に、班ミーティングなどで支援方法の検討などを行なっている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	2	モニタリングを行ない必要に応じて見直しをしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4	1	基本活動のア～エすべてに対応するようにしている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2	主に児童発達支援管理責任者が出席している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1	支援学校の担当者と連絡を取り合っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5	現在対象児なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	5	保護者に許可を得たうえで、主に、こども療育教室との情報共有を行なっている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1	当センターの生活介護に移行する児童がいた。実習なども通して、職員間で申し送りを行った。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	5	主に、こども療育教室と連携し、助言をいただいているが対象児は少ない。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4	外出の際に地域の児童館を訪問している。	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	守谷市障がい福祉事業所連絡協議会の分科会等に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		お迎え時に、その日の状況をお伝えし、ご家庭の様子も教えていただくなどして共通理解を図っている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2	2	必要に応じて、対応方法などの助言をしている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	2	契約書、重要事項説明書に記載するとともに、料金表、支援内容などを文書で作成し、提示、説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1	随時対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1	1	保護者懇談会を開催し、ご意見をお聞きしている。運営委員会を開催し保護者代表に出席して頂いている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2		苦情対応の職員を配置し、重要事項説明書に記載している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			広報誌を必要に応じて発行し、情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			ご家庭の意向を確認したうえで、適切に対応している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	2		それぞれの理解度に合わせ、伝達の方法を変えるなどして対応している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	2		年1回3月に、ひこうせんまつりを開催し、地域の方々との交流が持てる場を作っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定済み。保護者懇談会で、避難訓練の様子や感染予防についての対策などをお話している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			主に、長期休みの際に、障がい者サービスの方と合同で、地震や火災を想定しての避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	2		管理者、児童発達支援管理責任者が県が主催する研修を受講し、毎月の職員会議で全職員で研修をしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	2		センターとして身体拘束廃止委員会を設置し、毎月の職員会議で状況報告し、全員で情報を共有し、廃止できないかを検討している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			現在対象児なし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			ヒヤリハットや事故事例があった場合は、文書の提出を必須化し、リスクマネジメント委員会で、事例の分析と防止方法について検討し、職員会議で全員に周知している。